

2017
2月



料理帳

1人分(中学生)

栄養価	エネルギー Kcal	たんぱく質 動卵g	脂 肪 総量g	食 塩相当量 g	カルシウム mg	マグネシウム mg	鉄 mg	亜鉛 mg	ビ タ ミ ン	食物繊維 g		
									A µgRE	B1 mg	B2 mg	C mg
	871	34.7	41.7	25.3	3	321	94	3	4.8	405	1.02	0.9
										30	6.3	

赤米ご飯



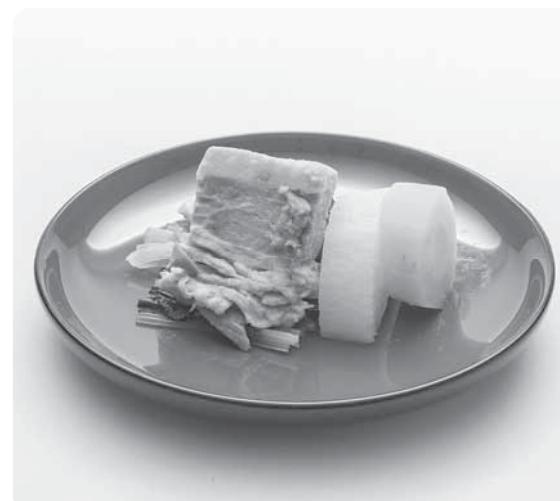
材 料 (1人分)

精白米 88g 赤米 5g

作り方

①米と赤米を研ぎ、浸漬させて炊く。

ラフテー



材 料 (1人分)

豚三枚肉 50g	濃口しょうゆ 3g
豚だし (ゆで汁) 15g	淡口しょうゆ 3g
かつお節 2g	生姜(うすぎり) 1片
水 20g	(付け合わせ)	
泡盛 小さじ2g	大根 23g
砂糖 1.5g	人参 11g

作り方

- 豚三枚肉はかたまりのまま鍋に入れ、かぶるくらいの水で沸騰させて、茹でこぼし水できれいに洗う。
- 鍋に水と肉は皮の部分を上にして入れ、中火で1時間30分位煮て、汁ごと冷ます。(ゆで汁は豚だしとして使う)
- かつおだしをとる。
- ②の肉を取り出し4~5cm角に切る。
- 鍋に分量のだし、泡盛、調味料、薄切りのしょうがを入れて煮立て、④の肉を入れ、落し蓋をして弱火で1時間ほどゆっくりと煮る。
- 豚三枚肉の皮が箸でちぎれるくらい、やわらかくなったら火を止め、味を含ませる。
- 大根、人参は適当な大きさに切り、煮込む。
- ⑥と⑦を盛りつける。

花しんすうの吸い物



材 料 (1人分)

肉団子		薄焼き卵	
豚挽肉 20g	卵 20g
溶き卵(卵液) 3g	(大さじ1は肉団子に使う)	
水 1g	塩 少々
塩 0.2	片栗粉 1.8g
A 1g	(同量の水で溶く)	
しょうが汁 0.6g	水 210g
片栗粉 0.6g	マース 0.5g
干し椎茸 中1枚	しょうゆ 2g
青菜 20g		
かつお節 5g		

作り方

- 豚挽肉に溶き卵、Aを入れてよくまぜ、10等分にして団子に丸める。
- 薄焼き卵をつくり、10cmくらいの円形に型を抜く。
- ③②の薄焼き卵の片面に、濃い目の水溶き片栗粉(分量外)をぬり、中心に①の団子をおき、薄焼き卵のふちを指でつまんで、五弁の花びらの形にととのえて包む。これを蒸し器で約8分蒸す。
- 椎茸は、戻し汁(椎茸がひたひたになる量)と砂糖(小さじ1/2)、しょうゆ(小さじ1/2)で下煮し半分に切る。
- 青菜は色よく茹で、4cm長さに切る。
- 鍋にだし汁を煮立て、塩、しょうゆで味をととのえる。
- 吸い物椀に花しんすう、椎茸、青菜を形よく盛り、⑥の汁をそそぐ。

セーイカときゅうりのウサチー



材 料 (1人分)

セーイカ 10g	もやし 15g
きゅうり 16g	酢 1.4g
人参 6g	☆ 三温糖 1.7g
		しょうゆ 2g

作り方

- セーイカは短冊切り、きゅうり、にんじんはせん切りにする。
- 材料を茹でて、冷却する。
- ボールに☆の調味料を混ぜ合わせる。
- ③に②を入れて、和える。

花みかん



材 料 (1人分)

タンカン 40g

作り方

- タンカンを洗い、横に切る。

献立のお知らせ

行事名

トウシビー(生年祝い)とその料理について

由来やいわれ

今日の給食は十三祝にちなんだ沖縄のお祝い料理の献立です。
沖縄には十三祝をはじめとしてトウシビー(年日)という生まれ年を祝う12年ごとの生年祝いがあります。数えで13歳、25歳、37歳、49歳、61歳、73歳、85歳、97歳の人が対象となり、旧正月最初の干支の日に祝います。97歳のカジマヤーは年に合わせて旧暦9月7日におこなわれています。この行事は、子どもの成長や高齢者の長寿を願う祝いでもありますのが、もともとは厄払いの行事でした。

61歳から97歳までのトウシビーは、昔の人が短命でもあったことから、盛大におこなわれました。特にカジマヤーとよばれる97歳は、今でも迎える人が少ないので、親戚や知人、子どもたちが大勢集まり、一段とにぎやかなお祝いになります。長寿を祝う膳料理も豪華で、子孫繁栄と喜びを意味する田芋でんがくやクープリチーなどが作られました。

また那覇(首里)では、桃(山桃の漬物)と六十(豆腐を薄く切って焼いたもの)2枚が縁起物として出されました。これは桃が百を表し、六十も2枚で百二十という長寿に通じます。

長寿をあやかるには、毎日の食事が大切です。しっかり食べましょう。



○○給食室より